



福島県立安達高等学校

「持続可能な社会を目指して～ESDの理念に基づいたユネスコスクールとしての取組～」

安達高校では、ユネスコスクールとして ESD 活動や SDGs を基にした探究学習を通して、環境問題への認識を深め、持続可能な社会を目指す意識の喚起と継続可能な具体的な取り組みを実践しています。

○ 公開 ESD 発表会を毎年開催（環境問題への深い学びと意識の喚起）

ESD（持続可能な開発のための教育）の理念に基づき、「総合的な探究の時間」を通して、環境、貧困、人権、平和など様々な課題を自らの問題として捉え、発表会を通して ESD、SDGs への理解を深め、その重要性を認識させる機会としています。毎年、環境問題を扱う探究テーマが多数あります。



○ 学校における環境保全活動

優秀表彰者用の賞状を自作



創立100周年記念行事として、人物、成績ともに優れた生徒に贈られる賞状を、県重要無形文化財「上川崎和紙」で今後10年分50枚を生徒会役員の生徒たちが作製しました。

ペットボトルキャップ回収



ゴミとして廃棄されるキャップを減らし、発展途上国でのポリオワクチン接種に役立てています。

書きそんじハガキ回収



書きそんじハガキを募金に変え、世界の人びとに学ぶ機会をつくる活動に参加しています。

置き傘の再利用



校内の傘立てなどに放置されている置き傘を誰でも借りられるようにしています。

出席簿等の自校作製



クラス出席簿や先生方が授業で使用する教務手帳を自校作製し、無駄な紙使用を抑えています。生徒手帳も今年度よりデジタル化しました。

○ 環境教育

ユネスコスクールとしての復興教育の一環で、福島再生可能エネルギー研究所（FREA）等を訪問しています。福島県ではカーボンニュートラルを目指し、自給が可能な再生エネルギーを促進していることを学びました。見学をして、再エネ設備の廃棄問題、場所の制限、高コストなどの問題についても深く考える貴重な機会となっています。

